

決算特別委員会

平成29年度決算における意見

認定第1号平成29年度勝山市歳入歳出決算の認定について、及び認定第2号平成29年度勝山市水道事業会計利益の処分及び決算の認定についての審査経過において出された主な意見は次のとおりです。

◎歳入歳出決算について

1 一般会計歳入について

○長年の課題となっていた一部法人の大口滞納問題については、過去の決算特別委員会で根本的な解決に向けて努められるよう指摘してきた。これまでに公売などを含めいろいろと努力され、今回の不能欠損処理により根本的な解決が図られた。

○今後は、民間による関連施設の活用が重要な課題となるものと考えられる。関連施設のあり方について、市としての考え方、活用に係る課題を整理されたい。

2 一般会計歳出について

○近年、行政事務の多様化により業務量が著しく増大しており、事務執行にあたっては、ますます確実な法令順守、適正文書管理が求められる。

○現在、さまざまな補助事業が実施されているが、補助要綱未整備のものが

見受けられる。要綱の整備及び適切な公文書の管理方法について、検討を進められたい。

○各部署で行われているさまざまな相談業務について、近年の行政改革の一環による市の組織再編等により、どの部署でどのような相談事業が行われているかが不明瞭になっている。各部署の業務内容の周知に努め、市民にとって身近な存在になるよう努められたい。

○勝山市社会福祉協議会や各地区社会福祉協議会では、市民生活向上に多大な貢献をいただいている。なかでも各地区社会福祉協議会のコーディネーターのみなさんには多大なる尽力をいただいている。今後も各地区社会福祉協議会が活動しやすいように十分な支援に努められたい。

○地域おこし応援事業について、「地域おこし応援隊」の募集にあたっては幅広く、柔軟な活動ができるような内容になるよう検討されたい。

○内水面漁業振興事業費について、平成32年度オープン予定の道の駅では、あゆを活用した事業展開も検討されている。今後、漁業資源の活用に向けた取り組みなどを検討されたい。

○ふれあい市民事業費、ふるさと納税について、これまでも積極的に取り組

まれている。今後、さまざまなアイデアで返礼内容を充実させ、使いみちのPRやガバメントクラウドファンディングの活用などにより、ふるさと納税の増加に努められたい。

○移住施策全般について、現在U・Iターン施策を積極的に進めているが、定住に関する施策の強化を図られたい。

○観光の産業化に向けて勝山市観光まちづくり会社は重要な位置を占めている。勝山市観光まちづくり会社への支援については、内容や実績を十分に把握して行うよう留意されたい。

○観光振興について、さまざまな事業に取り組みまれ一定の効果をあげている。今後は、事業内容の精査と効果の検証を行い、効率的な予算配分に配慮されたい。また、観光への投資においては生活交通や観光交通の相互調整に努め、市民生活環境の向上にも十分に考慮されたい。

○道路修繕や改良など市民生活に不可欠なインフラ整備に努力されている。しかし、人口減少と高齢化が進むなか、財源の確保が難しくなっている。今後も計画的、効率的な予算執行に努めて市民生活にも十分配慮されたい。

○総合的な学習の時間事業費について、学校によって経費に大きくばらつきが

生じている。また、学校管理運営費においては、必要性に即した状況でない部分が見受けられる。慣例的な予算要求のあり方も含め予算の持ち方について検討されたい。

○友好都市等交流事業については、その遂行において不適切な部分が見られた。今後は実施体制、参加者資格、訪問先、内容、提携のあり方などについて今一度検討されるとともに、参加者負担金などについては十分な支援を行うよう努められたい。今後の事業推進については、従来の交流都市との関係を整理し、事業のあり方について十分に検討されたい。

○文化振興事業について、事業や団体への活動に対する支援を強化し文化振興に努められたい。

◎水道事業会計決算について

○冬季の断水等により、市民生活へ影響を与えないよう適正な維持管理に努められたい。

○今後の予算編成や執行においては、審査の過程において、その都度、指摘した事項も含め、誠意を持って改善に努められるとともに、健全な財政運営を堅持しつつ、市民福祉の向上と活力あるまちづくりに向けて邁進されることを望むものであります。